

## テレビを見比べて気付いたらどうする？

- この番組すごいじゃん。 → 即テレビ局に「あの放送はよかった
  - こんなこと知らなかった。 → ですよ」と電話をしましょう。
  - よくぞ作ってくれた。
  - 感動した一、と思ったら  
いま、良い番組を作ろうと頑張っている制作者は、権力から圧力をかけられ、フェイクで叩かれ疲れ切っています。だからあなたの電話がとてもカブけになるのです。
- 
- ナニ、この番組。安倍さんにヨイショばかりじゃない。
  - これってものすごく大事な事でしょ。それなのに番組が終わるころ放送するなんて、NHKってなんかヘン。 → と思ったら、テレビ局にすぐ電話！特にNHKにはすぐ電話を。「XX日の〇〇の番組ででこういうことを言っていたけど、これってほんと？△△テレビでは違うように言っていたけど」と、出来るだけ具体的に云いましょう。

NHK 東京視聴者ふれあいセンター：0570-066-066、050-3786-5000

NHK 大阪視聴者ふれあいセンター：06-6949-5500

●奈良放送局に電話しても無駄。握りつぶされるだけ。番組を作っているのは東京と大阪。



NHK にちゃんと物の言える視聴者になりましょう。私たちに受信料を払って、事実に基づいた公平な放送を聞く権利があります。

NHK は公共放送なのです。

NHKには「公平」な報道が求められます。  
公平とは、賛成も反対もみな同じように両論併記で報道する事ではありません。意見が対立している問題を積極的に取り上げ、議論を深めることが公平であり中立です。  
ほら、すっかりしている、政府は海外で自衛隊が戦争をするために、憲法を変えようとしています。  
NHKは放送を通して、私たちが政府に無批判に従う国民にしよう・・・

NHK が番組で国会をどう扱うか、に注目しましょう

放送法第4条(放送事業者が国内外で放送する番組の編集について定めた条)

- (1) 公安及び善良な風俗を害しないこと
- (2) 政治的に公平であること
- (3) 報道は事実をまげないですること
- (4) 意見が対立している問題についてはできるだけ多くの角度から論点を明らかにすること——を求めている。(2018-04-16朝日新聞夕刊 1 総合)



## ニュース聞き比べ

今国会で意見が対立している問題を、テレビのニュースはどう私たちに知らせようとしているのでしょうか？

もしかして、とても大切な事を知らされなかったり、知らないうちにトンデモナイ方向へ誘導されてしまうかもしれません。

そんなことのないように、テレビニュースのどこを見たらいいかを探ってみました。



チェックポイント  
国会関係のニュースをどう扱っているかが問題なのです。



## ニュースを見比べ 聞き比べてみました

2月24日の沖縄の辺野古の問題に関する県民投票を例にとって

- NHK：ニュースウォッチ9 (NHK・N9)
  - ABCTV：報道ステーション (ABC・HS)
  - MBSTV：ニュース23 (MBS・23)
- を比べてみました

### 番組全他の何番目に取り上げたか

- NHK・N9・・・2番目
- ABC・HS・・・2番目
- MBS・23・・・2番目

### どの位の長さで放送したか

- NHK・N9・・・10分
- ABC・HS・・・10分
- MBS・23・・・5分

NHK・N9とABC・HSは放送時間が約1時間なのに対しTBS・N23は46分と短いことも考慮の必要がある。



### どんなコメント？

- NHK・N9：街の声のインタビューの数が多かった。コメントは、国の安全にかかわる問題だから、そこを全国の人でも考えてほしい。最後は街の声を反復。
- ABC・HS：際立っていたのはこの投票で大きな役割をした元山仁士郎氏と辺野古賛成派の嘉陽宗一郎氏の二人への同時インタビュー。二人分断ではなく、意見が違って話も聞いてみようという動きを実感していた。コメント：結果が辺野古NOの根拠を与えた。今までは政府はこう考える、だったが政府は沖縄にどう答えてくれるかという沖縄からの問いが、今度の県民投票の意味。
- MBS・23：現地取材から：賛成反対に係わらず、政治がどこまで真剣に真面目にこれを受け止めてくれるか、が沖縄の声。安全保障関係も変わってきているから、一度政府も一度立ち止まって胸襟を開いて度考えてみるべき。

あれ？と思ったらその事を心に止めておきましょう

ラジオと比べるという手もある  
 MBS ラジオ：「ニュースなラジオ」  
 TBS ラジオ CLAUD：「Session23」  
 月～金 22：00～23：55

ラジオが上手く入らなかったらインターネット→「ラジコ」→番組へ

### こういう番組もある

BS・TBS「報道1930」月～金 19：30～20：50

2月25日のゲストは3人。この中の元海兵隊員政務外務部次官エルドリッチさんの意見の中から：

- ・ 県民投票は憲法で保障された権利。今まで県民は意見を求められたことはない。このやり方が正確な県民の意志がわかる。
- ・ なぜ唯一なのか政府は説明していない→メディアはこの点について何も言わない。民主主義の問題としてこれで良いのか？
- ・ 普天間は危険というけれどそんなことはない。政治の騒音が高まっている。
- ・ 前提になっていることに丁寧な検証を。
- ・ 軍事的、戦略的、環境問題、コスト、政治的問題として、そこまでやる必要があるのか十分に考えられていない。
- ・ 別の所の方がいいと思うが、文民統制で日米政府が決めたことだから、軍は従うしかない。
- ・ 対話が必要。日米両政府と沖縄県の三者での話し合いの場を。

エルドリッチさんの意見が正しいとはいうことではない——特に普天間基地について米軍の認識が見えてきて愕然——うーん、メディアもあまり取り上げていなかった視点が沢山指 摘されていますね。これは重要な指摘ですね。

